

2024（令和6）年 中央小学校 学校づくりビジョン



教育目標
豊かな心を持ち、生き生きと活動する子どもの育成

<めざす子どもの姿>

- ・自分で学び、行動する子
- ・多様性を尊重し、ともに高め合う子
- ・体をきたえ、命を大切にする子

「子どもが真ん中」となる教育活動をめざして

- *子どもを中心に据えた相互コミュニケーション力をアップ
- *子どもの笑顔あふれる協働力をアップ



<めざす学校の姿>

- ・すべての子どもが認められ活躍できる学校
- ・保護者、地域、社会とつながり、ともに歩む学校
- ・教職員がやりがいを持って教育活動を行う学校

1 確かな学力を育てる(新教育プログラム 1・2・3)

小規模の強みを活かした教育活動の推進

- ①論理的思考力を高める授業づくり
 - 思考スキルの充実 ○協働的な学び
- ②「読む・話す・伝える」思考力、判断力、表現力の育成
 - 読解力を育む「20の観点」を全学年で活用
- ③ICT教育の充実
- ④自主性と創造性の芽を育む多彩な体験型学習の充実
 - 一人ひとりが必ず体験できる機会を柔軟に計画・実行
 - 相互学習で学びの相乗効果を生み出す
- ⑤基礎的・基本的な力を育むきめ細やかな指導
 - チャレンジタイム・少人数指導・日本語指導

2 こころとからだを育てる(新教育プログラム 4)

～問題解決能力を育成～

- ①学びに向かう力
 - 多様性を尊重するなかまづくりの推進（QU活用）
 - 自己肯定感の向上
 - 系統的な人権教育の実施
- ②進んで運動に親しみ体力向上を図る活動の推進
 - 体を動かす遊びの充実
 - 低・中学年の運動量確保（中学校乗入を活かして）
- ③基本的な生活態度の育成、基本的な生活習慣の定着
 - 規範意識の修得 ○健康・安全意識の向上
 - 学校保健委員会の実施

3 夢と志を育てる(新教育プログラム 5・6)

～こころとからだの健全な育成～

- ①人間性の育成
 - いじめ調査の実施と教育相談
 - 道徳教育の充実
 - 児童創意の活動の充実
- ②コミュニケーション能力の向上
 - 小規模アシスト事業により他校児童と交流
 - 非認知能力の向上（やり抜く力・つながる力）
- ③地域・文化を活かしたキャリア教育の推進
 - 地域連携の学習体験・文化継承体験



4

全ての子どもを
伸ばす学校

全ての子どもを伸ばそうとするチーム力の強化

- ①校内研修の充実
 - 子どもが問いを持ち続け、問題解決能力を高める授業づくり
 - ICT活用による教育活動の充実を目指した実践力向上
- ②教科担任制を生かした専門的な指導・深い子ども理解
 - 児童に魅力的な授業づくり ○全職員による子ども理解
- ③特別支援教育の充実
 - 組織的な支援体制（生徒指導と特別支援が一体となった組織対応）
 - 一人ひとりの教育的ニーズに応じた途切れのない支援（サポートルーム）
 - きめ細かな支援体制、関係機関との連携 ○個別最適な学びの実現
- ④学びの一体化での授業研究
 - 小中連携人権フォーラム、保幼小中の授業公開、保小中乗り入れ授業

5 学校教育力の向上

家庭・学校・地域 相互コミュニケーション力の向上

- ①「チーム学校」としての組織力強化（地域に開かれた学校づくり）
 - コミュニティスクールによる学校運営の充実
 - 運営協議会5回開催（授業参観等）・地域関係者との連携協力
 - 地域教育力の活用
 - （図書ボラ・地域協働の防災学習・諏訪太鼓・保存文化財・地域探検・地場産等体験学習）
- ②家庭・地域・学校の協働の推進
 - 学校と家庭とのとぎれない学びで学習習慣を定着化
 - ホームページやH&S(便り)による発信、より多くの方への学校開放
- ③働きやすい職場環境の充実
 - 総勤務時間の縮減（定時退校日＆ノー会議デー、終礼での終業確認）